



# 明るいまちづくりの集い

福祉部長 定光英男

131号

H25. 3.1 発行

西江原

## 公民館だより

今年度の標記の集いは、二月二十四日、公民館の集会室に倉敷市・高蔵寺の住職 天野こうゆう先生をお招きして「講演会」として開催した。天野先生をお招きするきっかけは、テレビに出ておられた先生を公民館長がご覧になり、一目ぼれされた結果である。

演題は「根っこを育てる」。九十分の講演の間、終始笑顔とユーモアを絶やされず、実にアットホームな雰囲気であった。ご自分の一日は早朝の水ごりから始まること、これは長年続けられており、継続することの重要性から始まり、大人が忘れてしまっている自然の変化や草花のうつろいなどに子供は実に敏感で、子供から教えられることも多いこと、高さ数メートルの樹木であれば、その三倍に相当する根が樹木の周囲の地下に張り巡らされており、その根がこの部分を踏み荒らすようなことをすると、やがてその樹木は枯れてし



と一緒の高野山へ登られ、母上が自分の今後のために一心に祈ってくださったことに触れられ、祈る対象は、亡くなった方や過去のことだけではないことが強調され、感動的でした。

世話役を含めて一六二名もの方々に参加いただき、盛会裏に終了できたことは、関係各位のご尽力の賜物であり、厚くお礼申し上げます。

まうこと、根っこの張り具合に応じた距離を保ちながら水や肥料を与えることが重要で、この距離感とは人間関係や親子関係でも同様であるとのことであった。

最後には、先生が仏門に入ることが決心され、中学卒業と同時に母上

第一回井原市公民館対抗三世代グラウンド・ゴルフ大会が十一月二十一日(土)に井原市グラウンド・ゴルフ場(四季が丘)で開催されました。

市内各公民館及び各世代間の親睦を図るとともに、市民の健康づくり、体力づくり、仲間づくりのためのスポーツ活動の一環として、グラウンド・ゴルフの普及を図ることを目的として行われました。

寒い時期の開催にもかかわらず、市内各公民館から多くの選手の方が参加されました。六十歳以上、十九歳以上六十歳未満、高校生以下の各世代間の選手で一チーム六名で競技を行いました。

西江原公民館からも三チームが出場し、初めて競技に参加した人が大半の中、要所では普段から競技をされている六十歳以上の選手の方に教わりながら、楽しく競技することができました。次回も多くの方に参加をお願いしたいと思います。(体・レク部長 金島孝和)

### グラウンド・ゴルフ大会



# 2012年度の行事



第38回 井原夏まつり  
(H 24. 8. 4)

第35回 納涼盆踊り大会  
(H 24. 8. 13)



町民運動会  
(H 24. 5. 13)



2012 ふれあい広場  
(H 24. 11. 25)



第50回 市民体育祭  
(H 24. 10. 7)



明るいまちづくりの集い  
(H 25. 2. 24)



第32回 バレーボール大会  
第1回 ペタンク大会  
(H 24. 12. 2)



## バレーボール・ペタンク大会

十二月二日(日)、西江原小学校体育館で、第三十二回西江原町親睦バレーボール大会と、同じく運動場で第一回ペタンク大会を開催いたしました。

バレーボールでは、大会一週間前から小学校体育館を練習に開放していますが、参加者が少なく心配していましたが、当日は各部多くの選手と関係者が参加のもと、盛大かつ熱戦の続く大会となりました。接戦の結果、昨年に続き一部が優勝しました。

また、ペタンクは屋外競技ということもあり、選手の皆さんは寒さを感じながらも初めての競技を楽しんでいたのだと思います。各部チーム戦の結果、二部が優勝しました。同好会から立ち上げて、今大会を行うことができましたが、今後より多くの方々に参加していただける大会にしたいと思います。

最後に、各競技にご協力いただきありがとうございました。いへんありがとうございました。ごさいました。(体・レク部長 金島孝和)



# この一年を振り返って

公民館長 宗高平八

私の思う平成二十四年度はこんな年でした。

内外からのストレスに国民は疲弊感、閉塞感を感じながら頑張った年。その中であって、ロンドンオリンピック・パラリンピックにおける日本選手・郷土選手の活躍は、私たちに感動や勇気・一体感などの活力と潤いをもたらしてくれ、更には今までになく多かった団体競技の活躍が、いま「チーム日本」で戦う切実さを国民に教えてくれました。

そして、何といても山中教授が受賞された「ノーベル生理学・医学賞」の「iPS細胞」。その早期で多様な活用は、難病患者への最前報。生命医学発展に日本創生の期待をも被らせて考えてみるのでは。

また、新知事誕生、政界再編という新たな息吹に期待する年であったかと。

さて、西江原公民館の平成二十四年度ですが、今年度も多くの関係の皆様のご協力とご支援を賜り、この「公民館だより」に掲載している以上に、幅広く充実した事業ができたのではないかと、心から感謝申し上げます。

恒例の公民館行事では、町民運動会、盆踊り大会、ふれあい広場、バ

レーボール大会と新たに三世代ペタンク大会、そして、天野こうゆう師のご講演で締めくくった最後の行事「明るいまちづくりの集い」。

市の関係では、井原夏まつり、市民体育祭に加えて、新たに公民館対抗グラウンド・ゴルフ大会への参加等々。

文化教室や各学級の活動など日常の公民館活動も拡充しながら歩んだ年であったと考えます。

こうして公民館は、先人が残された伝統的な行事・文化を継承し、時代の要請を加味しながら人びとを繋ぐ、いわゆる「まちづくり」に大きな貢献をしてきたことは多くの皆様のご理解をいただけることと存じます。

平成二十五年度は、ますます進展する少子高齢社会、地域の繋がりの希薄化に加え、安心・安全など、町民自身の創意工夫によるまちづくりが求められており、公民館も一員である「西江原地区まちづくり協議会」との連携のなかでこれまでの活動に工夫を加えながら取り組むこととなります。

また、学校と地域との連携の大切さは全国的に唱えられており、公民館でも「学校応援団（学校支援ボランティア）」への皆様の更なる登録をいただき、子どもたちとの活動をとおして元気を貰いましょう。

さらに次年度からは、町民運動会と小学校の運動会を同日開催とする準備も進んでいます。最初は戸惑い

もあるでしょうが、地域と学校の連携ということからも意義のあることだと思います。

お陰さまで、「ギヤラリー甲山」にも作品展示が増えてきました。公民館が皆様の憩いの場としてお役に立てればと思ひますのでお気軽にご利用をください。これからも一層のご指導とご支援をよりしくお願い申し上げます。

## 文化教室紹介

### 四季折々に

#### 俳句教室



縫ひあげし野良着きりりと鍛始 宗高かつえ

右まはり左まはりや蜻蛉とぶ 片山千代

このお二人の作品は、平成二十四年度の井原市文学賞の受賞作品の中の句です。むずかしい言葉を使わず日々の生活のなかで感じたこと、目でみて耳で聞いたことを十七文字で表されています。

私たちの俳句教室は、西江原公民館創設当時より今日まで休むことなく活動を続けています。昨年は公民

## 囲碁大会

二月十七日、西江原町第45回囲碁大会が開催され、成績は次のとおりでした。

☆大会成績 (敬称略)

クラス	優勝	第二位	第三位	敢闘賞
B	A			
大山茂樹	本間義久	片山敏光	川上忠恒	落合健一
森山重夫	小林重	平井清治		



館のご支援のもと、句会報を刊行することができました。

四季折々の日々の暮らしの中で感じたことを、日記を記すようなつもりで俳句をはじめられてはいかがでしょう。

私たちと一緒に、住む町の四季を楽しみましょう。心よりお待ちしております。

俳句教室一同

### ご寄付を

いただきました



藤原 豊子 様 (神戸)

ありがとうございます。

# まなびフェスタ in いばら

一月二十六・二十七日にアクティブライフ井原で、「まなびフェスタ in いばら」が開催されました。婦人学級・幼児学級・家庭教育学級の皆さんが作成されたパネルを展示しました。



## しめ縄づくり教室

十二月一日(土)、しめ縄教室を開催しました。

今年も数名の方にリーダーになっていただき、参加した方々へ分担してアドバイス等をしていただきました。今回も、興譲館高校の生徒さんを含め多数の町民の方々が参加してください、楽しくしめ縄を作りました。文化継承のためにも、今後も継続していきたいと思えますので、興味のある方はもちろん、作ったことがない方も是非ご参加ください。  
(文化部長 相田瑞明)

## 地域の情報

### まちづくり協議会

### 視察研修

晴天に恵まれた二月十六日、西江原まちづくり協議会の十六名は、まちづくりの先進地である美作市の英田上山棚田再生づくりを見学しました。

四十年前は、標高四〇〇以上の高地に二〇〇世帯五〇〇人の人口で八三〇〇枚の棚田を耕作し、自然との共生が図られていた上山地区が、現在では六五世帯一七〇人の人口になり、高齢化率も高く限界集落といわれ、ほとんどの棚田が耕作放棄地となり、全滅の状態となりました。三年前に、都会の企業を脱サラした人や大学生等の若者が、自分の生き方を同じくする人たち十一

### 西江原公民館

〒715-0006  
井原市西江原町1414  
☎ 0866-62-8129  
メール  
nishi-km@ibara.ne.jp  
ホームページ  
http://www.ibara.ne.jp/~nishi-km/

## 社協だより

### おひな様作り サロン甲山

会員さんが届けてくださった水仙の香りが漂う公民館の一室。暦の上では「雨水」となるはずの二月十八日は、雪まじりの冷たい雨となりました。「春が待ち遠しいなあ」という声が、どこからか聞こえてきます。二月のサロン甲山は、ひな祭りに向けて、折り紙のひな人形作りになりました。おしゃべりも楽しみながら、作業は進みます。できあがったおひな様は、十人十色。各自のおひな様と記念撮影をして、解散となりました。

(西江原地区社会福祉協議会

中山 由利子)



名が参加して棚田再生プロジェクトを立ち上げ、行政・地域が協力しながら一割の棚田の復活再生に成功し

た様子を「いちちよう庵」という古民家を再生した囲炉裏の部屋で三時間にわたり研修と意見交換をすることができました。

昼食には、上山地区の高齢の方が自分で収穫した「そば」をその場で「蕎麦打ち」していただきました。蕎麦の味にも、またその方の生き生きとした姿に感動いたしました。これからの「西江原町のまちづくり」の大きなポイントを得ることが出来たと確信しながら帰途につきました。

(西江原地区まちづくり協議会  
会長 落合 清三)